

作業支援技術と姿勢矯正による 健康維持

小林 宏 (Kobayashi, Hiroshi)

東京理科大学 教授
株式会社イノフィス 創業者・取締役

【要旨】

「生きている限り自立した生活を実現する」ことを目標に、2000年から、人の動きを物理的に支援する装置の開発を行ってきた。着用型筋力補助装置:マッスルスーツはその一つで、肉体作業者の多くが悩まされている腰痛対策として、腰補助に特化した開発・製品化を行った。2014年から販売を開始し、最近ではアジアや欧州にも展開し、これまでの累積出荷台数は2万台を超えている。

一方、マッスルスーツは、骨盤周辺を中心とした姿勢矯正を実現する機能訓練にも使用できることが判明し、10分程度の訓練で、歩行ができるようになったり姿勢の矯正が可能であることが分かってきた。

本講演は、「作業支援技術と姿勢矯正による健康維持」と題し、マッスルスーツの変遷と、機能訓練の効果を簡単に紹介する。